

令和 2 年度

事業報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人結城市社会福祉協議会

令和2年度 社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業報告

法人運営部門

1 会務運営

(1) 理事会の開催

【第1回】(書面決議)

- ・決議日 令和2年6月19日(金)
- ・議事
 - 議案第1号 令和2年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算(第1号)について
 - 議案第2号 社会福祉法人結城市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について
 - 議案第3号 社会福祉法人結城市社会福祉協議会評議員選任候補者推薦の同意について
 - 選任第1号 社会福祉法人結城市社会福祉協議会副会長の選任について
 - 選任第2号 社会福祉法人結城市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について
 - 報告第1号 令和元年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業報告について
 - 報告第2号 令和元年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支決算報告について
 - 報告第3号 令和元年度会長職務執行状況の報告について

【第2回】

- ・開催日時 令和3年3月11日(木)午後2時から
- ・開催場所 結城市立公民館 集会室4・5
- ・議事
 - 議案第4号 社会福祉法人結城市社会福祉協議会定款の一部改正について
 - 報告第4号 令和2年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算(第2号)専決処分報告について
 - 報告第5号 令和2年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算(第3号)の専決処分報告について

- | | |
|---------|---|
| 議案第 5 号 | 令和 3 年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業計画
(案) について |
| 議案第 6 号 | 令和 3 年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支予算
(案) について |
| 議案第 7 号 | 令和 3 年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会役員賠償責任
保険の加入及び契約内容の決定について |

(2) 監査

【令和元年度事業報告及び会計監査】

- ・開催日 令和 2 年 6 月 1 2 日 (金)
午前 9 時 3 0 分から 1 2 時
- ・開催場所 結城市役所駅前分庁舎 多目的ホール

(3) 評議員会の開催

【第1回】(書面決議)

- ・決議日 令和2年6月26日(金)
- ・議事
 - 議案第1号 令和2年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算(第1号)について
 - 議案第2号 社会福祉法人結城市社会福祉協議会職員給与規程の一部を改正する規程について
 - 選任第1号 社会福祉法人結城市社会福祉協議会理事の選任について
 - 報告第1号 令和元年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業報告について
 - 報告第2号 令和元年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支決算報告について

【第2回】

- ・開催日時 令和3年3月25日(木)午後2時から
- ・開催場所 結城市立公民館 集会室4・5
- ・議事
 - 議案第3号 社会福祉法人結城市社会福祉協議会定款の一部改正について
 - 報告第3号 令和2年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算(第2号)専決処分の報告について
 - 報告第4号 令和2年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支補正予算(第3号)専決処分の報告について
 - 議案第4号 令和3年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会事業計画(案)について
 - 議案第5号 令和3年度社会福祉法人結城市社会福祉協議会収支予算(案)について

2 各種委員会

(1) 評議員選任・解任委員会

【第1回】

- ・開催日時 令和2年7月6日(月)午前10時30分から
- ・開催場所 結城市役所駅前分庁舎 多目的ホール
- ・議 事 社会福祉法人結城市社会福祉協議会評議員の選任について
(5名)

3 地域福祉の推進

(1) 生活支援体制整備事業（結城市委託事業）

ボランティアや行政、地域組織や地域住民等の多様な主体が連携し、「地域における助け合い・支え合い活動を地域の視点で広げよう」という取組みを推進するため、市内小学校区ごとに設置された9つの「第2層協議体」、全域的な「第1層協議体」の中で地域課題の抽出と解決策を協議し実践活動を進めた。

また、「第1層生活支援コーディネーター」を配置し、事業の啓発や各々の協議体活動の運営支援を行った。

【事業実績】

●第1層協議体

◆第1回第1層協議体

開催日時	令和2年6月23日（火） 14時～15時30分
開催場所	結城市役所 第2委員会室
参加人数	22人
内 容	第2層協議体の再開のためコロナ対策の方針を協議及び第2層協議体用感染対策ガイドラインの作成。実践活動の参考資料として通いの場×新型コロナウイルス対策ガイドの配付。年間予定を検討。第2層協議体での認知症サポーター養成講座等、メンバーの資質向上に繋がる内容を取り入れることについて共有した。

◆第2回第1層協議体

開催日時	令和2年10月28日（水） 14時～15時30分
開催場所	結城市民情報センター 多目的ホール
参加人数	25人
内 容	（一社）とちぎ市民協働研究会：廣瀬隆人氏をアドバイザーに招き、各第2層協議体の進捗状況を報告。廣瀬氏より報告に対する講評・他市町村の地域活動紹介を実施。当該事業と地域ケア会議の連携について等を情報共有した。

●第2層協議体

協議体区域	協議体名称	開催数	参加人数 ※延べ数
結城小協議体	すまいる結城	7回	111人
城南小協議体	城南元気会	8回	114人
江川地区(江川北小)協議体	エガワ協議体	5回 ※2カ月に1回の開催	75人
結城西小協議体	くすのき会	8回	83人
山川小協議体	あやど会	6回	76人
上山川地区協議体	上山川助け合い協議体	4回 ※2カ月に1回の開催	59人
絹川地区協議体	きぬがわ	7回	106人
城西小協議体	はっぴい城西	6回	58人
江川地区(江川南小)協議体	江川南協議体	2回 ※2カ月に1回の開催	22人

◆その他の取り組み

【第2層協議体リモート勉強会】全5回開催

docomo ショップ 筑西・結城の協力のもと、第2層協議体メンバー及び関係者を対象にコロナ禍での新しいコミュニケーションツール ZOOM を使用しリモートを学ぶ機会として勉強会を実施。

【第2層協議体認知症サポーター養成講座】全5回開催

認知症高齢者等への理解を深め地域で認知症の人やその家族に対してできる支援を学ぶ機会として「認知症サポーター」養成講座を実施。

●第2層協議体交流会

※新型コロナウイルス感染予防により中止

●市民フォーラム

※新型コロナウイルス感染予防により中止

(2) 支部社協の育成強化

「小地域」において、福祉の推進組織を整備するとともに、福祉活動を円滑にするため、絹川・上山川・山川・江川の4支部体制で支部運営を行い、地域の実情に沿った事業を展開した。なお、今後については、前述の第2層協議体との関係性の整理検討を行うこととする。

【支部総会の開催】

- ・江川支部 (書面決議)
- ・絹川支部 (書面決議)
- ・山川支部 (書面決議)
- ・上山川支部 (書面決議)

(3) 地域福祉活動計画の推進

「結城市地域福祉活動計画」に基づき、結城市が策定した「結城市地域福祉計画」と連携・協働して、各種事業を実施した。

【第1期結城市地域福祉活動計画の期間】

平成22年度から令和26年度の5年間

【第2期結城市地域福祉活動計画の期間】

平成27年度から令和元年度までの5年間

第3期結城市地域福祉活動計画を策定した（令和元年度）

【第3期結城市地域福祉活動計画の期間】

令和2年度から令和4年度の3年間

(4) ボランティア会員の育成及び活動支援

各ボランティアサークルの育成及び活動を支援した。

（助成金額 P11参照）

【ボランティア登録状況】 ※令和3年3月31日現在

- ・登録団体数 28サークル
- ・登録人数 540人

(5) 結城市ボランティア連絡協議会の育成支援

各々のボランティアサークル間の情報交換及び会員の連携を図ることを目的として、団体への育成支援を行った。

【加入団体数】 28サークル ※令和3年3月31日現在

(6) ボランティア協力校の育成及び活動支援

「こどものときから福祉の目を」をスローガンに、市内小・中・高等学校の児童生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、たすけあいの精神を養うことを目的に、市内15校（小学校9校，中学校3校，高等学校3校）をボランティア協力校に指定し、育成及び活動を支援した。

【主な活動内容】

- ・募金活動
- ・美化運動
- ・花いっぱい運動等

【活動費助成】

- ・市内小・中・高等学校助成額 合計 953,000円

(7) サマースクール

毎年児童生徒を対象に、福祉の体験学習をとおして、自立性・協調性を培うとともに、地域社会やボランティア活動への理解を深め、福祉の目を育てることを目的として実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のため未実施

(8) ボランティア派遣

市内小・中学校、福祉施設、企業等からの依頼により、社会福祉協議会登録のボランティア及び本会職員を派遣した。

【事業実績】

- ・小中学校からの派遣依頼 3回（シニア体験、手話体験、点字を学ぼう等）
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、小学校へ福祉用具のみを貸し出した。 2回（シニア体験）

(9) ふれあい総合相談 高齢者地域支援体制整備事業（結城市委託事業）

高齢者等の日常生活における法律的助言が必要な案件に対して、弁護士による相談窓口を設置することにより、不安の解消や詐欺被害の防止を図った。

【事業実績】

相談種別	相談員	開催日数	相談件数
【専門相談】 毎月第2・4金曜日 13時30分～15時30分 社会福祉協議会相談室	弁護士 3名	22日	50件
【毎日相談】 毎週月～金曜日 8時30分～17時15分 社会福祉協議会事務局	社会福祉協議 会職員	244日	69件
合計		266日	119件

(10) 日常生活自立支援事業（茨城県社会福祉協議会委託事業）

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等、日常生活において判断能力が不十分な方々を対象とし、金銭管理や福祉サービスの手続補助等のサポートを実施した。

【事業実績】

- ・生活支援員 5人
- ・年間利用者 9人

(11) 各種行事の開催

障害の有無にかかわらず、ボランティアや福祉関係者を含めた地域住民との交流を目的に、毎年、結城市ボランティア連絡協議会主催による各行事の後援、運営協力を行っているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、ふれあい福祉のつどい及び障害者週間クリスマス会は中止となった。

(12) 児童遊具修繕・撤去助成事業

児童公園内に設置してある児童遊具について、修繕及び撤去申請に対して助成金を交付した。（1件の申請上限額10万円）

【事業実績】 2件（前法内、久保田）

(13) 児童公園・ゲートボール場整備事業

児童公園並びにゲートボール場、集会施設等地域住民が集まる場所にベンチ及び砂を配布した。

【事業実績】

申請種別	件数	備考
ベンチ	3件	・集会施設等(松木合、新田間町、古山台山)
砂	2件	・児童公園（前法内） ・ゲートボール場（下り松）

(14) ひとり親世帯児童生徒入学祝品贈呈事業

令和2年4月に、小・中学校及び特別支援学校（小・中等部）に入学した市内在住のひとり親世帯に対して、入学記念品を贈呈した。

【事業実績】 申請件数（贈呈件数） 14件

(15) 子ども食堂（ほぺたん食堂）の実施

子どもとその家族及び地域住民に対して、あたたかな団らん、子どもの居場所づくりを目的に、関係機関との連携を図りながら毎月1回（第3金曜日）実施した。（大人1食300円、子ども1食100円）

主催 いばらきコープ生活協同組合

共催 （福）結城市社会福祉協議会

協力 北つくば農業協同組合

後援 茨城県・結城市・協働組合ネットいばらき

運営ボランティア ゆうき子ども食堂の会（会員数 13名）

※令和2年度は、万全なコロナ対策のため、数回にわたり準備を行ったが、保健所と協議の結果、感染防止を優先し、未実施となった。

(16) 敬老の日記念品贈呈事業

下記対象者に民生委員・児童委員の協力を得て、記念品を贈呈するとともに百歳祝いについては、結城市と連携し、随時実施した。

【卒 寿】 214人（タオルセット）

（昭和5年4月1日から昭和6年3月31日生まれ）

【金婚式】 175組（時計）
（昭和45年4月1日から昭和46年3月31日婚姻）

【百歳】 13人（祝金）
（大正9年4月1日から大正10年3月31日生まれ）

(17) 団体への支援

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| ① 結城市自治協力員連合会 | 400,000円（助成金） |
| ② 結城市民生委員児童委員協議会 | 475,000円（共募配分福祉育成） |
| ③ 結城市ボランティア連絡協議会 | 0円（助成金） |
| ④ ボランティアサークル助成
（28サークル） | 825,000円（助成金） |
| ⑤ 結城市老人クラブ連合会 | 0円（共募配分福祉育成） |
| ⑥ 結城市身体障害者福祉団体連合会 | 0円（共募配分福祉育成） |
| ⑦ 結城市子ども会育成連合会 | 266,000円（共募配分福祉育成） |
| ⑧ 結城市遺族連合会 | 66,000円（共募配分福祉育成） |
| ⑨ 結城市心身障害児（者）父母の会 | 47,000円（共募配分福祉育成） |

※③、⑤、⑥の団体は、新型コロナウイルス感染予防のため各事業が中止となったことから、助成無しとなった。

4 低所得者福祉対策

(1) 生活困窮者自立支援事業（結城市委託事業）

生活保護に至る前の自立支援策の強化を図ることを目的とした生活困窮者自立支援制度の一部（自立相談支援）を結城市より受託。結城市福祉事務所社会福祉課内に相談窓口を設置し相談員1名を常駐させ、多様で複合的な課題を抱える生活困窮者への包括的かつ継続的な支援を行いながら、自立の促進を図り事業を実施した。

【事業実績】

新規相談	延べ相談	支援プラン	支援調整会議
218件	611件	0件	0回

(2) 小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に生計の維持が困難になった場合に経済的自立及び生活意欲の向上を目的として、短期無利子の貸付を実施した。また、償還金滞納者に対して訪問調査等を実施した。

貸付種別	延べ相談	貸付件数	貸付金額
小口資金	23件	23件	735,000円

(3) 生活福祉資金貸付事業（茨城県社会福祉協議会委託事業）

茨城県社会福祉協議会の委託を受け低所得世帯・障害者世帯・高齢者世帯からの貸付に関する相談及び償還等の受付窓口として、該当世帯の経済的自立等を助長した。

【事業実績】

貸付種別	延べ相談	貸付件数	貸付金額
生活福祉資金 (緊急小口資金)	18件	1件	100,000円

緊急小口資金特例貸付（新型コロナウイルスに起因する貸付）

貸付種別	申請件数	申請金額
緊急小口資金	555件	377,100,000円
総合支援資金	512件	
総合支援資金（延長）	84件	4,400,000円
総合支援資金（再貸付）	111件	57,600,000円

(4) 歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として、12月1日から1か月間にわたり、結城市共同募金委員会が実施主体となり歳末たすけあい募金を展開した。

地域住民から寄せられた善意の募金を民生委員・児童委員の協力を得て、各対象者に対して援護金及び一人暮らし高齢者安否確認強化事業等を実施した。

【事業実績】

・ 援護金配分額	4,635,000円
・ 事業型配分額	70,000円
合計	4,705,000円

5 高齢者の生きがいと健康づくりの推進

(1) 高齢者のスポーツ・レクリエーション活動

① スポーツ活動

I 各種スポーツ大会

毎年、高齢者の健康づくりや介護予防活動の強化推進事業として、結城市老人クラブ連合会主催による各種スポーツ大会を後援、運営協力を行っていたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のため中止

II 第25回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会

毎年、結城市老人クラブ連合会主催の各種スポーツ大会の優勝クラブ及び個人について、茨城県及び県社会福祉協議会が主催する大会への参加支援を行い、スポーツ及び健康増進への意欲向上と県域における相互交流を推進しているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染予防のため中止

② レクリエーション活動

I 第51期老人大学

毎年、今日の文化、経済、社会情勢をよく把握し、健康で生きいきと「明るく豊かな生活」を送ることを目的に開催していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止となった

II 老人クラブ研修大会

毎年、各地区老人クラブ（結城ブロック、絹川地区、上山川地区、山川地区、江川地区）主催による研修大会を行っていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止となった。

(2) 高齢者趣味教養講座（結城市委託事業）

高齢者の生きがいを促進し、閉じこもりがちな高齢者の社会的孤立感の解消及び自立支援の助長を目的に実施した。

① 各種講座の開催

【事業実績】

講座名	開催回数	実施回数	実人数	延べ人数
パソコン	1回	10回	10人	81人
太極拳	1回	10回	19人	170人
健康マージャン講座	1回	8回	11人	74人
カラオケ	※新型コロナウイルス感染予防のため 令和2年度は中止となった			
編み物				
スクエアステップ体操				
スポーツ吹き矢				
肩こり腰痛予防 ストレッチ体操				
笑いヨガ				
合計	3講座	28回	40人	325人

6 社協会費

(1) 社協会費の募集

民生委員・児童委員、自治協力員並びに関係機関及び団体にご協力いただき、地域福祉事業推進を図るため、市民に対し会費への協力をお願いした。

【社協会費協力依頼】(募集強化期間 令和2年6月～7月)

- 一般会費 結城市自治協力員連合会総会中止のため、結城地区の自治協力員に資料を郵送した
- 特別会費 令和2年6月の日赤活動費取りまとめ会場にて、各民生委員・児童委員に資料を配布した。(絹川・上山川・山川・江川地区自治協力員分資料を含む)

【会費実績】

(単位：円)

地区別	特別会費	一般会費	合計
結城	1,217,000円	2,229,750円	3,446,750円
絹川	376,000円	460,100円	836,100円
上山川	323,900円	285,500円	609,400円
山川	270,000円	355,300円	625,300円
江川	273,000円	585,500円	858,500円
結城第一工業団地	188,500円		188,500円
市役所関係	77,000円		77,000円
合計	2,725,400円	3,916,150円	6,641,550円

7 広報活動

(1) 広報紙の発行

市民に対して、結城市社会福祉協議会の活動及び福祉に関するお知らせ等を目的として、広報紙「社協だより笑顔」を年4回、市内全戸配布した。

(2) ホームページの運営

市民に対して、福祉に関する情報やお知らせなどを随時発信することを目的として運営した。

【ホームページアドレス】 <http://www.yuki-shakyo.or.jp/>

8 その他

(1) 災害支援活動

結城市が主催する防災広場が、新型コロナウイルス対策の一環として縮小した開催となったため、災害ボランティアセンター設置訓練等が中止となった。

(2) 法外援護事業

① 火災見舞金

【事業実績】

I 全焼	@10,000円×5件=50,000円
II 半焼	@5,000円×4件=20,000円
合計	9件/70,000円

(3) 行旅人援護金

【事業実績】 @200円×5人=1,000円

(4) 高齢者マイクロバス運行事業

毎年単位老人クラブ並びにボランティアサークルが視察研修等、活動範囲を広げ活動できるよう支援することを目的に事業を実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため実施無し

(5) 福祉備品貸出事業

レクリエーション用具（輪投げ、ボーリング、ディスクゲッター等）を市内の自治会、幼稚園、医院、高齢者施設が企画する行事に貸し出した。

【事業実績】 18件（うち、車椅子7件）

福祉活動部門

1 地域福祉活動

(1) 安心カード事業

一人暮らしや日中独居高齢者となる世帯等に対し、緊急の場合に備え、救急隊員などがかかりつけ医や持病などについてすぐに分かるよう、必要事項を記載できるカードを民生委員・児童委員の協力を得て、配布した。

(2) ふれあい生きいきサロン推進事業

小地域コミュニティの形成を推進するため、各地域で活動を行っている団体に対して支援を行った。

【実施団体】

- | | |
|------------|---------|
| ・粕礼お茶飲み会 | 10,000円 |
| ・本町いきいきサロン | 10,000円 |

2 高齢者福祉活動

(1) 有償在宅福祉サービスセンター事業

市民の参加と協力により、日常生活を営むうえで支障のある世帯等に、簡単な家事のお手伝いを「有料」で実施した。

【事業実績】

・利用会員	110人
・協力会員	53人
・派遣件数	2,134件
・派遣時間	2,782時間

(2) 一人暮らし高齢者安否確認ふれあい電話サービス

65歳以上の電話を設置している一人暮らし高齢者を対象に、定期的な電話による安否確認及び孤独感の解消等を目的に、毎週月曜日及び木曜日にボランティアサークルふれあい電話の協力により事業を実施した。

【事業実績】

・実施回数	67回
・対象者	73人
・年間利用者数	896人

(3) 一人暮らし高齢者安否確認友愛訪問サービス

65歳以上の電話未設置及び訪問による安否確認が必要な一人暮らし高齢者を対象に、定期的な訪問による安否確認及び孤独感解消等を目的に毎週水曜日にボランティアサークル友愛サークルの協力により実施した。

【事業実績】

・訪問回数	31回
・対象者	在宅者7人、施設入居者1人
・年間延べ訪問数	103人(在宅者)、0人(施設入居者)

(4) 健康農園運営事業

高齢者が健康で安らぎのある生活を営むため、余暇を利用して野菜・草花等を栽培し、生きがいと健康維持を目的に2か所で事業を実施した。

【事業実績】

- ① 四ッ京11755番地 地積1,302㎡(賃貸契約)
利用者26人(1人あたり約40㎡に30区画整理)
- ② 四ッ京11771番地 地積976㎡(使用貸借契約)
利用者17人(1人あたり約40㎡に16区画整理)

3 児童福祉活動

(1) ファミリーサポートセンター事業(結城市委託事業)

市民の参加と協力により、安心して子供を産み健やかに育てることが出来る環境づくりの実現を目的に「有料」で実施した。

【事業実績】

・利用会員	240人
・協力会員	54人
・利用件数	468人
・利用時間	1,079時間

法的サービス部門

1 介護保険事業

高齢者を社会全体で支え合うことを目的として制定された介護保険法に基づき、利用者本位のサービスを提供できるよう、介護保険指定サービス事業所としてコロナ禍の中、十分な感染対策をとったうえで、執行体制の強化とサービスの向上に努め事業を実施した。

(1) 訪問介護事業

訪問介護員（ホームヘルパー）が居宅を訪問して、入浴・排泄・食事等の身体介護等、日常生活上の世話・掃除・洗濯の生活援助等を行った。

【事業実績】

① 介護

・実利用者数	13人
・サービス提供件数	1,858件
(内訳)	
身体介護	1,158件
身体・生活	319件
生活援助	381件

② 介護予防

・実利用者数	26人
・サービス提供件数	1,699件（生活援助）

③ 訪問型サービス A

・実利用者数	12名
・サービス提供件数	533件

2 障害福祉サービス事業

障害者が地域で安心して暮らせるノーマライゼーション社会の実現を目的として制定された障害者総合支援法に基づき、利用者本位のサービスを提供できるよう、居宅介護事業所としてコロナ禍の中、十分な感染対策をとったうえで、執行体制の強化とサービスの向上に努め事業を実施した。

(1) 居宅介護事業

障害者に入浴・排泄及び食事等の身体介護、調理・洗濯及び掃除等の家事援助や通院等外出時における移動中の介護を目的に事業を実施した。

【事業実績】

- ・実利用者数 53人
- ・サービス提供件数 2,180件

(2) 同行援護事業

視覚障害により、移動に著しい困難を有する障害者の外出に同行し、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護や便宜を供与することを目的に事業を実施した。

【事業実績】

- ・実利用者数 6人
- ・サービス提供件数 68件

(3) 障害者移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者に対して、外出のための移動支援を目的に事業を実施した。

【事業実績】

- ・実利用者数 9人
- ・サービス提供件数 168件

障害者福祉センター部門

1 障害者福祉センターの運営管理（結城市指定管理）

- ・社会福祉法人結城市社会福祉協議会は令和元年度（平成31年4月）より結城市の指定を受け障害福祉における拠点施設化を目指し各種の障害福祉サービス、福祉関係団体、ボランティア、地域住民の理解と人材育成促進のための事業を展開、拠点となる障害者福祉センターの効率的な管理運営を実施した。

【障害者福祉センター利用状況】

- ・障害者福祉センターの利用については、市内に居住している障害者及び家族、障害者団体等に利用を許可した。

市民 貸出	機能回復訓練室		作業訓練室		ホール		食 堂		調理室		計	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	1	15	0	0	1	1	0	0	0	0	2	16
8月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
9月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
10月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
11月	4	35	0	0	1	1	0	0	0	0	5	36
12月	5	61	0	0	2	2	1	5	0	0	8	68
1月	2	13	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	12	124	0	0	7	7	1	5	0	0	20	136
センタ ー利用	機能回復訓練室		作業訓練室		ホール		食 堂		調理室		計	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
4月	21	52	0	0	0	0	21	371	0	0	42	423
5月	18	43	0	0	0	0	18	307	0	0	36	350
6月	22	64	0	0	22	170	22	241	0	0	66	475
7月	21	60	0	0	21	157	21	230	1	4	64	451
8月	20	52	0	0	20	140	20	198	0	0	60	390

9月	20	57	0	0	20	154	20	212	0	0	60	423
10月	22	71	0	0	22	167	22	208	1	1	67	447
11月	19	61	0	0	19	186	19	201	0	0	57	448
12月	40	237	0	0	0	0	20	210	0	0	60	447
1月	38	216	0	0	0	0	19	199	0	0	57	415
2月	36	216	0	0	0	0	18	185	0	0	54	401
3月	23	64	0	0	23	181	23	248	0	0	69	493
計	300	1,193	0	0	147	1,155	243	2,810	2	5	692	5,163

市民貸出、センター利用合計

	機能回復訓練室		作業訓練室		ホール		食 堂		調理室		計	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
合計	312	1,317	0	0	154	1,162	244	2,815	2	5	712	5,299
月平均	26	109.7	0	0	12.8	96.8	20.3	234.5	0.1	0.4	59.3	441.5

2 結城市社会福祉協議会多機能型事業所

- ・令和元年度（平成31年度）より茨城県の指定を受け「地域活動支援センター事業」から「障害者総合支援法」に規定された障害福祉サービスである「就労継続支援 B 型事業」「生活介護事業」を提供する多機能型事業所として運営しており、市内及び小山市・筑西市の一部地域の在宅身体障害者及び知的障害者、精神障害者の社会的自立と社会参加の促進を図ることを目的とし、作業訓練や日常における基本動作の指導、集団生活への適応訓練、創作的活動、レクリエーション等の事業内容を実施した。

事 業 内 容	
結城市社会福祉協議会 多機能型事業所運営 ○就労継続支援 B 型事業 （作業訓練・生産活動） ※生産活動で、就労に必要な知識および能力の向上。 ※日常生活面での必要な技術と知識を身に付けるため、アドバイスや訓練を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・花づくり、花卉販売、草木染 利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、花づくり、花卉販売を通じて、その知識および能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行った。 令和2年度から草木染事業を展開した。 ◎工賃月額平均 10,230 円 ◎花卉販売状況 3,965,600 円

	種類	本	販売額 (円)
前期	サルビア	7,787	451,120
	マリゴールト	14,862	1,188,960
	ゴーヤ	293	45,300
	ブロッコリー	0	0
後期	パンジー・ヒオラ	28,040	2,280,220
計		50,982	3,965,600
◎草木染販売状況 106,000 円			
●合計 4,071,600 円			
○生活介護事業 (身体機能・日常生活能力支援) ※日常生活上の支援や身体機能・生活能力の向上に向けた支援や創作・生産活動をサポート。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常訓練における基本動作の指導、集団生活への適応訓練 ・日常生活動作・歩行訓練等の各種機能訓練 ・簡単な発声及び発音訓練 <p>◎上記の訓練等を実施したことにより平均して約3名の利用者が継続して通所することができた。</p>		
支援計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画 (就労 B : 10 件 生活 : 5 件) 		
相談業務 ※障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう各種相談を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉、就労、生活等の各種相談により下記の結果となった。 <p style="margin-left: 40px;">医療・福祉相談 2 件 生活相談 4 件 就労相談 0 件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三者面談 (アセスメントを実施し支援計画に反映) 		
○就労継続支援 B 型事業・生活介護両事業対象 (機能回復訓練・余暇活動) ※余暇活動支援を行い、就労支援以外の福祉の可能性を見出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・月 1 回折り紙教室の開催 ・月 3 回手話教室 (指文字) の開催 <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止により未実施月あり。</p> <p>日頃の活動を発表する場として「障がい者週間クリスマス会」、「ふれあい福祉のつどい」にて手話の歌の披露を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった。</p>		
○就労継続支援 B 型事業・生活介護両事業対象 (レクリエーション) ※楽しさや歓びを提供し、そこから利用者の生きる意欲を導き出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会の開催 <p>各種イベントの実施により利用者の QOL (生活の質) 向上を図ることができた。</p> <p>※「月別主要実績」参照</p>		
送迎サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の送迎 5 名 		

【事業利用者数】 15名（利用者数は1名増員）

就労継続支援事業 10名（2名入所、1名退所：就労継続支援A型事業所に移行）

生活介護事業 5名（1名入所、1名退所：施設入所）

【利用者】 15名（うち女性4名）

令和3年 3月31日現在

重複障害者	3名	①精神障害、療育B ②精神障害、療育B、身体4級 ③療育A、身体1級（車椅子使用）
身体障害者	1名	身体3級
知的障害者	10名	療育A-2名、療育A-6名、B-2名
精神障害者	1名	精神障害、要介護3
平均年齢	41歳	（最高年齢58歳：最少年齢28歳）
通所方法		・保護者等による車の送迎 3名 ・自転車（本人） 5名 ・徒歩（本人） 1名 ・センター送迎 5名

【実施日】 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

【実施時間】 午前9時～午後4時

【就労継続支援事業】

事業開設日	243日
利用延べ人数	2,066名
1日平均利用人数	8.5名

【生活介護事業】

事業開設日	243日
利用延べ人数	703名
1日平均利用人数	2.8名

【職員人員配置】

職 種	勤務形態	人 数
施設長	常勤・兼務	1
サービス管理責任者	常勤	1
職業指導員	常勤・兼務	1
看護職	常勤	1

生活支援員	常勤・兼務	2
生活支援員	常勤	1
生活支援員	非常勤	1

常勤職員 7名（職員3名、嘱託職員1名、臨時職員3名）

非常勤職員 1名（臨時職員）

合計8名

【利用者確保に向けて】

・結城特別支援学校及び市内相談支援事業所3か所、筑西市及び筑西市内相談支援事業所3か所、グループホーム1か所、小山市及び小山市障害児者基幹相談支援センター2か所、グループホーム1か所、古河市内相談支援事業所1か所に訪問し事業案内を行った。

次年度も新規利用者を増やすため、引き続き結城特別支援学校と情報提供を兼ねた打合せを実施すること、結城特別支援学校主催福祉施設説明会の参加協力、また、事業対象地域を結城市全域の他、小山市、筑西市の一部地域としたことを踏まえ、両市の相談支援事業所への事業啓発活動の他、グループホームとの連携（グループホームの日中活動支援のひとつとして当就労継続支援B型事業との連携）を視野に入れ活動を展開します。

【実習生・見学者の受入れ】

実習生 1件（結城特別支援学校高等部2年生）

見学者 3件（内2件が利用者として通所。）

【月別主要実績】

月別	主要事業名	場所
4月	・ サルビア・マリーゴールド植替え（7～17日：9日間）	センター内
5月	・ 心身障害児者父母の会総会（中止） ・ レクリエーション（フライングディスク等）（中止） ・ 保護者会の開催（中止）	
6月	・ 農業体験（いちご狩り）（10日） ・ 多機能型事業所利用者医療相談（18日） ・ 三者面談（16～17日）	小山市築 吉田農園 センター内 センター内
7月	・ じゃがいも収穫体験（2日） ・ 七夕飾り ・ 市障害者福祉センター運営委員会（14日） ・ 施設見学・研修会（お楽しみ会）（中止）	センター内 センター内 センター内

8月	・ サマースクール 2020 ニュースポーツ交流会 (中止) ・ パンジー及びビオラ種まき (7日、20日)	センター内
9月	・ パンジー及びビオラ植替え (7～9日、29～30日) ・ ふれあい福祉のつどいの参加 (中止)	センター内
10月	・ 障害者福祉センター交流会 (中止) ・ 多機能型事業所利用者医療相談(インフルエンザ予防接種)(29日)	センター内
11月	・ 秋の実り収穫体験(センター内果樹:林檎、柿)	センター内
12月	・ 障がい者週間クリスマス会の参加 (中止) ・ 仕事納め(特別昼食、年賀状書き)(28日)	センター内
1月	・ 仕事始め(1年の目標)(4日) ・ 避難訓練(総合訓練)(22日) ・ レクリエーション◎買い物体験(中止) ・ もちつき体験(地域交流事業)(中止)	センター内
2月	・ そば打ち体験(地域交流事業)(中止) ・ レクリエーション◎カラオケ大会(中止) ・ 新年度予算及び事業計画の検討	
3月	・ サルビア及びマリーゴールド種まき(2日、16日) ・ 父母の会お楽しみ会参加(中止)	センター内
その他	・ お誕生会 随時 ・ 折り紙教室(第4月曜日) 毎月1回 ・ 手話教室(第1～第3金曜日) 毎月3回	

※令和2年度に中止となった行事は新型コロナウイルス感染予防によるものです。

なお、緊急事態宣言解除後は新しい生活様式を取り入れ、代替え行事を実施しました。

3 障害者社会参加促進事業(結城市受託事業)

・ 社会における役割を見だし、生きがいを持って積極的に社会に参加できるよう事業を実施した。

○手話・朗読講座

【手話講座：事業実績】

講座名	開催回数	実人数	延べ人数
入門	33回	12名	340名
中級・上級	33回	10名	210名
夜間	15回	7名	63名
合計	81回	29名	613名

【朗読講座：事業実績】

講座名	開催回数	実人数	延べ人数
入 門	8回	16名	98名
中 級	8回	25名	114名
合 計	16回	41名	212名

○視覚障害者援助事業

【点字点訳サービス】

- ① 身体障害者相談員名札用シール 1回
- ② 身体障害者福祉団体連合会役員会資料 1回
- ③ 身体障害者福祉団体連合会総会資料 1回
- ④ 朗読サービス郵送袋用宛名シール 1回

【朗読サービス】

- ① 広報結城 12回
- ② 広報結城お知らせ版 24回
- ③ 社協だより笑顔 2回
- ④ 市議会だより 4回
- ⑤ アクロス 4回
- ⑥ 結城の文化 1回
- ⑦ 個人 1回

○聴覚障害者援助事業

① 聴覚障害者交流窓口

聴覚障害者（児）の相談援助及び交流を目的に、毎週水曜日に結城市障害者福祉センターにおいて、年間48回の交流窓口を開設した。

② 各種交流会

- ・レクリエーション 1回／参加人数34人

※他の交流会は、新型コロナウイルス感染予防のため中止

○福祉団体機関との共催事業

毎年障害者の自立と地域社会の参加を目的として、障害者及び地域住民を対象に市内の福祉関係団体との共催による交流事業を実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため中止

① ゆうゆうカーニバル

結城市社会福祉協議会・結城特別支援学校・結城地区PTA共催によるやさしいまちづくりを推進するため、結城特別支援学校の児童生徒と地域の方々の交流をとおり、地域の理解と認識の向上を図ることを目的とする